



渡島地方本部ニュース

【 発 行 】

自治労渡島地方本部
執行委員長 川村 哲也
〒041-0806
函館市美原 4-6-16
TEL 0138-34-2357
FAX 0138-34-2358

新たな公立病院改革ガイドライン

これからの地域医療を考える学習会を開催！

3月7日(土) 渡島地方本部衛

生医療評議会第1回幹事会を開催し、役員体制と当面する課題について確認した。また、幹事選出

の各病院の財政状況について意見交換をした。佐々木議長からは

市立函館病の27年度見込みで158億円の収入額があっても

赤字となっている、例えれば七飯町の一般会計より大きな額である

が、このくらいあっても黒字にならない理由は薬剤費、抗がん剤

など高い薬価を使用、ジェネリック使用は30%であるなど要因

を述べた、最近では首都圏の大型病院が特に財政状況が悪い、日大病

院330億、聖マリアンヌ150億の赤字、設備投資、人件費が主

な原因となっていることが報告された。今幹事会では佐々木議長

が道本部衛生医療評会議長に就任しことにより、新たに議長選出

をした。

役員体制は以下の通り、

議長 若狭一浩(森町職労)

事務局長 八木大之(函館病院労組)

幹事 石戸沙希(松前町職労)

寺島靖人(木古町職労)

安井真悟(八雲町職労)

田中茂昭(長万部町職労)

松田勝行(函館病院労組)

特別幹事 佐々木淳(函館病院労組)

引き続き、新たな公立病院改

革ガイドライン「これからの地

域医療を考える学習会」を開催

した。当日は土曜日でもある中、

渡島管内から40名を超える参

加者があり、講師には道本部

兼村公共サービス部長、吉田組

織拡大オルグを迎え、兼村氏か

らは2015年の厚生労働省

「地域医療構想ガイドライン」、

総務省「新たな公立病院改革ガ

イドライン」を説明、これを受

けて各都道府県は地域(二次医

療圏)全体の医療体制再編を行

う「地域医療構想」を策定する

になる。今後、公立病院は地域

医療構想との整合性をはかり

「新公立病院改革プラン」を策

定するになる。自治労として道

内に110カ所ある公立病院の

個別対応出来る体制を構築する

ため、こうした学習会で情報の

共有化をはかり、しっかりと地

域医療を守るたかいに結びつ

けたいことが述べられた。

引き続き、道本部、吉田オル

グからは「公立病院の現状と「独

立行政法人化」と題して講演が

ありました。吉田氏からは①公

立病院を取り巻く情況、②独立

行政法人化③労働者の法的権利



病院で働く組合員を中心に40名以上が集まった



道本部 吉田オルグ

について説明がありました。特に吉田氏においては、未組織や組織拡大の推進含めて、この間、紋別、松前、厚沢部の各病院における問題に関わってきており、独立行政法人化とはどのようなものか、公立と独法との労働者の身分、賃金・労働条件・権利の違いについて説明がされた。特に独法になった場合は今まで人事院勧告であった賃金も労使交渉で決着するなど労働組合として責務も大きくなる。従って、自らの賃金・労働条件は自らが守ることがもつとも重要であり、組合の必要性も高くなることなどが話された。

最後に松前病院労働組合・奥井執行委員長から松前病院における独立行政法人化に向けた労使交渉や議会対応、道本部との連携など

【裏面へつづく】

などが報告されましたが、組合結成も年数が浅く戸惑ってきたが、この間の病院当局の労使対応への不十分さや今後の雇用、賃金、労働条件を守るためにも「腹をくくっていく」と強い決意表明もありました。

最後に地本川村委員長からは各自治体病院が抱えている問題と取り巻く状況について意思統一が図られ、地域医療・住民の命・働く仲間を守るためにはよい政策・法律が必要であり、政治活動も避けて通れない課題、その上で7月実施される参議院選挙において比例区、えさき たかし氏、北海道選挙区、徳永エリ氏への支援もお願いし、今後も道本部・地本・単組が連携して取り組みを進めていくことをお願いした。



松前病院 奥井委員長

渡島地方本部

財政分析セミナーを開催！

3月7日(月)、北斗市かなでるにて、北海道地方自治研究所から辻道雅宣氏を講師に迎えて『自治体財政分析のポイント 決算カードによる財政の健康診断』と題して自治体財政分析講座を開催した。

冒頭、川村執行委員長は、しっかりと財政を学び春闘期の要求・交渉に結び付け役立ててほしいと挨拶で述べた。

参加者は、事前に各自治体の決算カードから、過去5年分の財政基礎数値を財政分析基本表に打ち込み、その表をもとに各種数値の見方について、講義を受けた。詳細については次号で



渡島地方本部

2016 春闘総決起集会を開催！

財政分析セミナーから引き続き、春闘総決起集会が同会場にて開催された。

冒頭、川村委員長からはアベノミクスの崩壊により厳しい春闘となること予想される。すべての課題は政治と切り離すことはできないという共通認識のもと、来るべく選挙闘争へ春闘と結合させ取り組んでいくことを全体で意思統一する集会にしたいと挨拶がされた。

集会では、帰山書記長より情勢を報告し、全道庁渡島総支部、函館交通労組、森町職労、函館環境衛生労組から春闘期の経過報告と決意表明を受けた。

その後、道地方自治研究所辻道主任研究員より、地方財政について講話いただき、集会決議採択の後、樋口副委員長の団結ガンバロウで集会を終えた。

【16単組総支部89名】



現業公企都市交評議会

第1回幹事会開催

2月17日(水) 北斗市かなでるにて、渡島地方本部第2回現業公企都市交評議会幹事会を開催した。

会議では、今年度の役員体制を確認するとともに、骨太方針2015、春闘期における制度政策要求について大西道本部現評議長より提起をうけ、春闘期の取り組み、今年度の労働者集会等について議論した。

2016年度幹事体制

議長 渡部広幸(函館市職労)

※道本部現評副議長

副議長 菊地敏文(七飯町職労)

事務局長 山本誠司(北斗市職労)

幹事 工藤耕三(函館市交通)

能登谷透(環境衛生労組)

福土裕之(亀田清掃労組)

松本吉隆(恵山公清ユニオン)

阿部 亮(松前町職連)

田畑 有(木古内町職連)

齊藤正典(森町職労)

平和則(長万部町職労)

松川康治(鹿部町職労)

角田晃教(地本副委員長)